

## 「人口減少対策」の新たな動き

### 合併で人口減

日本弁護士連合会(日弁連)は昨年11月6日、「平成の大合併の検証」をテーマにシンポジウム開催しました。その中で、日弁連が「合併・非合併町村の人口動態等の分析」を発表しました。「分析」は、合併しなかつた小規模町村と、同規模で合併した旧町

村の47件について10年間の人口動態と財政状況などを比較しました。その結果、人口減少率は47件中43件、高齢化率では47件中41件で、合併しない町村の方が合併した旧町村より低く、実質収支比率は41件で上昇していました。日弁連は、合併しない町村では役場機能が保たれ、職員数も減っていない等が背景にあるとしています。

### 立 事業共同組合を設

一方、国では地域人口の急減に対処するための「特定地域づくり事業推進法」(議員立法)が昨年11月成立しました。人口が急減している地域に都道府県知事が認定する事業共同組合を設立し、組合に登録した若者を地域内の農林漁業等へ派遣するものです。過疎地域の振興とふるさと回帰の動きをマッチングするとし、事業規模約130億円を想定し、国の財政措置約35億円が予定されています。

### 地方創生は第2期へ

★藤島歴史公園Hisu花（ヒスカ）の大藤棚再生に向け、募金呼びかけ  
**1月14日現在、個人62件、団体(商店含む)13件が募金。**  
**7日の藤島地域新年祝賀会の会場では2万5,040円の募金がありました。**  
募金金額は一口1,000円から、募金期間は12月2日（月）から令和2年1月31日（金）まで現金の場合は、出羽商工会藤島支所内の「ふじしま観光協会」へ口座振替の場合は、口座名義「ふじしま観光協会 会長 田中壽一」  
・庄内銀行藤島支店・普通 0011781  
・鶴岡信用金庫藤島支店 普通 0077009  
・庄内たがわ農協藤島支所 普通 2948101

国では、今年から地方創生の第2期対策がスタートします。人口減少に歯止めがかからない中で、「関係



全国町村会が昨年11月に発表した提言

人口」と「にぎやかな過疎」がキーワードとして登場しています。小さいながら、新たな動きがたくさん起り、なにか「がやがや」している雰囲気を感じられる地域の形成（小田切徳美・日本農業新聞1月13日）です。

### 全国町村会が新提言

全国町村会では昨年11月、「これからの農業・農村政策のあり方」に

ついでにの提言「都市・農村共生社会の創造」を公表しました。この提言では、現在の農政の「農業の成長産業化」や「強い農業」に懸念を示し、「農業の発展」「農村の振興」「多面的機能の発揮」の3つの視点のバランスを均衡させることが重要だと訴えています。3つの視点を自治体が担う「農村価値創生政策」として位置づけ、既存の補助金等を整理統合した自由度の高い交付金「農村価値創生交付金」の創設を訴えています。また、これらの取組をサポートする人材「地域農業マネージャー」の制度設計も求めています。

### 【漢詩 農シリーズ】

#### 農回顧

其一

昔時自給少荒田  
濁酒家釀閱年  
誰曰病因狂藥治  
醅醪炉暖醉襟眠

#### 農回顧

其の一

昔時自給して荒田少なし  
濁酒家釀して年を閲る  
誰か曰う病は狂薬に因つて治ると  
醅醪炉暖かく酔襟して眠る

城貞（藤の花）

昔の農家ではどこの家でも自給自足の生活で、必要とする物を作りまかなっていた。今の時代のような、手入れのされていない田畑はみられなかった。違法な行為ではあつたけれども多くの家で濁酒を造り、毎年、年を過ごしていた。

誰が言ったのだろうか。病氣は酒に酔つてなると。（葉の無い昔は、酒は適量であれば百薬の長ありといわれた。）

囲炉裏でどぶろくを暖めているうちに体が温かく、ついに酔つた心地で眠ってしまった。

農＝農作業や生活等について。回顧＝過去を思う。昔時＝むかし。自給＝自給自足。荒田＝土地が手入れされず穀物のない田畑。濁酒＝にごり酒。家＝どここの家でも。釀＝酒を造る。閲＝時間を過ごす。曰＝言う。因＝よる。狂薬＝酒。治＝瘥。いえる。いやす。病氣が治る。醅醪＝どぶろく。酔襟＝酔つた心地。

# Mさんの日記より

新町 齋藤留治

中国ノ子 ナニシテンノ

寒イ雪ノ日 ベーゴマシテンノ

中国ノ子カワイイイカイ

オカゴヲサゲテ

ジャガイモノハナツンデカワイイヨ

中国ノ子 ドコニインノ

ボクノ悲シイ オモイデノ中ニイルノ

この詩も、以前この欄に載せていただいた「ここ山西省麦畑 行つても行つても麦ばかり」作者の酒田市のMさんである。

Mさんが山の僻地校に勤務していた時、書き留めておいたものだった。

この子どもが中国で生活していた所は多分旧満州、その満州傀儡国家樹立に関わったのは遊佐町の墓地に眠る石原莞爾という人。

## 中国の春節

さて、日本の正月は終わってしまったが、中国の正月（春節）はこの24日が大晦日で、25日は日本の元旦に当たり、一週間盛大にお祝いをするそうだ。

春節の期間はおなじみの民族大移動となるが、中国国際放送のアナウンサーによるとその数30億人？、帰省目的ではなく旅行に出かける人は約4億5千万人が見込まれているという。

中国国内旅行先で人氣が有るのは、雲南省の省都・昆明や海南島

③お金を借りないこと

④赤い下着を身に付けること

⑤掃除はしないこと

⑥旧暦1月1日に嫁いだ娘は、この日は実家に帰らないこと等々あるそうだ。

いずれも金運・幸運が逃げていくからとのことだが、何故赤い下着を身に付けないと運が逃げていくのか不思議でならない。

運の神様が赤色を好みな為かもしれないが。



中国の「春節」はあちらこちらで赤を飾る

## 世界の国々

### フランス

オペラ座バレリーナ、年金改悪、「白鳥の湖」で抗議

青山崇



フランス全土で、政府の年金改革反対のストライキ・デモが広がっている。

このような中で、年末12月24日、オペラ座バレリーナ40人がチュチュ姿で「白鳥の湖」を踊り、「パリ・オペラ座ストライキ」「文化が危ない」の横断幕を掲

6割が運休、パリ地下鉄も一部路線が運休した。

世論調査でもスト支持が7割近くに上っているという。

さて、面積は若干の海外領土も含めて55万km<sup>2</sup>、日本の1.5倍、人口6570万人で日本のほぼ半分である。

首都はパリで人口225万人、「花の都」と言われ世界の文化をリードしてきたことは広く知られてきたことである。

バレリーナのストー



### 不思議が一杯

今回のゴーンの出国でかすかに思い出したのが、後に大統領になった金大中さんの事だ。

確か彼の場合、東京のホテルから韓国に拉致された記憶だ。暴行を受けたであろう顔と併せて現状に回復せよという新聞の文字を思い出した。これが法的にどんな決着だったかの記憶はないが。

▲これから逃亡の実態が明らかになるだろうが、大したもんだぜ。こんな事が出来る隙間を見つけたんだから。

▲しかし、フランスのパスポートが2つあったのは何故なんだろ。しかも一つは彼に持たせていたんだヨ。保釈中の彼が、身分証明を必要とする場合ナンテあるんですかネー。

▲錠が掛かる物に入れていたらしいが、何故

ガンにも「文化が危ない」と入っているほどである。



「パリ・オペラ座ストライキ」と訴える横断幕が掲げられたオペラ座11月24日、パリ（ロイター）

錠が掛かる入れ物なんだろ。可笑しいでしょ。カギは誰が持っていたの？。使えないように持たせるとは、不思議でしょ。弁護士が言っていたつけが、物理的に壊す事は出来るワナート。でも、当局は安心していたんだ。

▲しかし、日本を出た記録が無いっていうのに向こうで正式な入国だとは、彼のパスポートに、日本出国のハンコがあるってのかね。

▲使える電話を特定していたという報道。彼がそれを使っていなかったとは当然でしょう。俺だって話が筒抜けになると考えるぜ。

▲住む家を指定しながら、妻とは同居を許さなかったんだ。彼が一番気にいらなかったらだっただらしいが。それでいて、彼一人の監視も出来ていなかったという事だ。乗り継ぎ関空まで行ったんだヨ。これは、はつきりした犯罪だが。（石川）